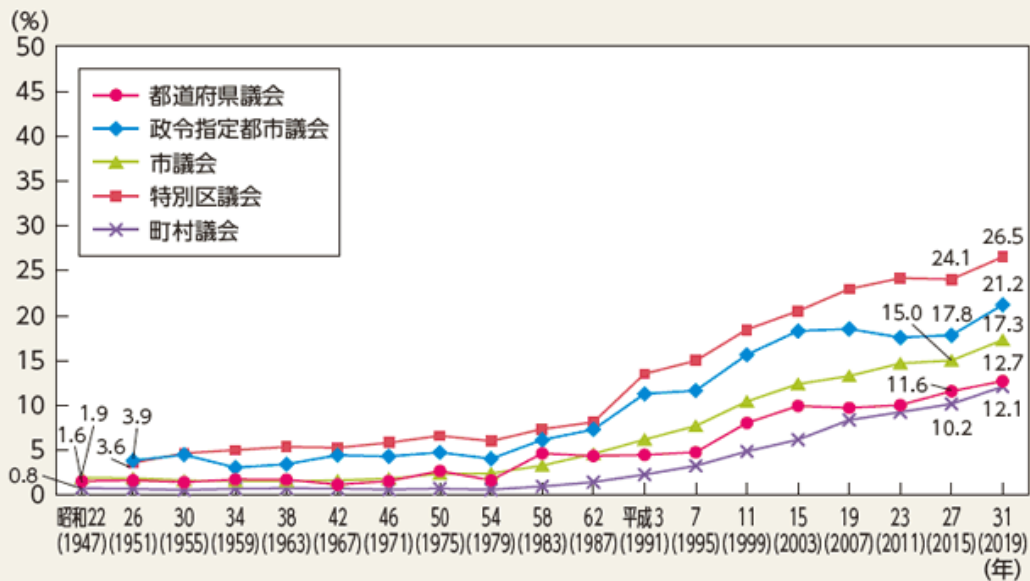


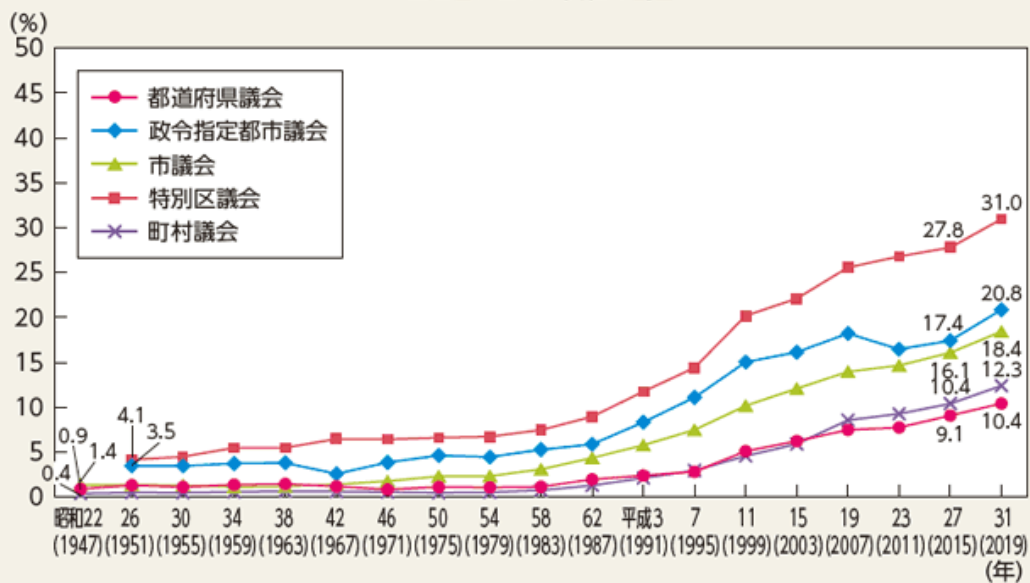
1-4図 統一地方選挙における候補者、当選者に占める女性の割合の推移

○統一地方選挙における候補者及び当選者に占める女性の割合は、上昇傾向。
 ○平成31（2019）年の統一地方選挙では、候補者に占める女性の割合は、特別区議会が26.5%と最も高く、町村議会が12.1%と最も低くなっており、全体で16.0%。
 ○当選者に占める女性の割合は、特別区議会が31.0%と最も高く、都道府県議会が10.4%と最も低くなっている。

候補者に占める女性の割合



当選者に占める女性の割合



(備考) 1. 総務省「地方選挙結果調」より作成。
 2. 昭和22（1947）年の「市議会」には、五大市議及び東京都特別区議の女性当選人数を含む。
 ※ 第5次男女共同参画基本計画において、統一地方選挙の候補者に占める女性の割合を2025年までに35%とする目標を設定しているが、これは、政府が政党等への要請、「見える化」の推進、実態の調査や好事例の横展開及び環境の整備等に取り組むとともに、政党を始め、国会、地方公共団体、地方六団体等の様々な関係主体と連携することにより、全体として達成することが期待される目標数値であり、各団体の自発的行動を制約するものではなく、また各団体が自ら達成を目指す目標ではない。

